

足元の業績動向は上昇している！ 年末手当要求満額回答を勝ち取るぞ！

2023年3月期第1四半期決算(4月～6月)は、3期振りに**281億円の黒字**となりました。黒字となった最大の要因は、運輸収入が781億円となったことです。

—足元の業績動向—

	2022.4	2022.5	2022.6	2022.7	2022.8	2022.9
鉄道営業収入 対前年同月比	133.8%	152.7%	139.1%	132.0%	149.1%	142.2%

また、2022年度のお盆(8月)の鉄道のご利用状況も、対前年**198%増**となっており、こちらからも足元の業績は順調に推移していることが分かります。

注目! なぜ、足元の業績動向に注目しているの??

22年夏季手当における労使での確認事項

- 2.3ヶ月回答の根拠は、職場の努力が足りなかった訳ではなく、赤字が大きな原因である。
- 黒字実現後の期末手当については、会社はその都度の業績に踏まえての判断となるが、組合のコロナ前の水準に戻すべきとの主張を否定しない。

この黒字基調は、コロナ禍での様々な努力に加え「業務」「施策」「コストダウン」等を担ってきた**職場の努力**によるものです！

会社はこの間、赤字・コロナ禍における職場の努力に対し、「定期昇給カット」「年間の期末手当4カ月」という回答を行いません。職場の努力に報いない経営姿勢に対し、働く者のモチベーションは上がりず、人材流出は止まりません。



昨年の期末手当交渉では、交渉前日に会社がマスコミに対し、一般論として賞与へのコメントを発表しました。要求満額獲得のため、組合員一人ひとりが「今」できることを実践し、未加入者へ東労組への加入を呼びかけよう！